

「重要度」の評価 ; あなたからみて本校に望む、教育の必要性・重要性を示す数値。
[4]……大変に重要である [3]……やや重要である [2]……あまり重要でない [1]……重要でない
「達成度」の評価 ; あなたからみて本校が現在どのくらい達成・実現できているかの割合(%)を示す数値。
[4]……75～100%(ほとんど) [3]……50～74%(まあまあ) [2]……25～49%(もうすこし) [1]……0～24%(わずか)

項目No	平成22年度 教務部 達成目標
31	①到達度評価の評価精度を向上させ、指導と評価の一体化を図って学力向上を図る。
33	②新教育課程の円滑な実施、高大接続の観点から二期制の実施に向けて検討する。
35	③体験活動を含めた各種行事について本校教育課程上での位置づけと、配置の再確認を行う
37	④SS後継ソフトの検討及び導入までの進行管理、到達度評価導入に関わるシステム上の支援体制作りを行う。
39	⑤新指導要領移行実施までの教科書、副教材採択における各教科への支援体制作りを行う。

教員	所属 部員	教務部内評価									
		項目31		項目33		項目35		項目37		項目39	
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度
9	31	3	4	1	4	3	4	4	3	3	3
13	31	4	3	3	4	3	3	4	3	4	4
19	31	4	2	2	2	4	3	3	3	2	2
25	31	4	3	2	1	4	2	4	3	4	3
32	31	4	3	2	3	3	2	3	2	3	3
36	31	4	3	3	3	4	3	4	3	4	3
43	31	2	3	2	3	3	3	3	2	3	3
48	31	4	3	3	2	3	3	3	3	3	2
49	31	4	3	2	2	4	3	3	3	3	3
52	31	3	3	#	3	3	#	3	#	3	3
53	31	4	2	3	3	3	2	4	2	4	3
56	31	3	2	2	2	3	2	4	3	3	2
62	31	2	2	4	3	4	4	4	3	#	#
66	31	4	3	4	2	4	3	4	4	4	4
平均		3.5	2.8	2.5	2.6	3.4	2.8	3.6	2.8	3.3	2.9

項目No	平成22年度 生徒部 達成目標
31	①躰教育・情操教育の指導体制の確立
33	②携帯、ネット関連教育の継続
35	③清掃活動の定着
37	④学校行事の充実と成功
39	⑤校舎建築に伴う生徒の安全対策

教員	所属 部員	生徒部内評価									
		項目31		項目33		項目35		項目37		項目39	
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度
1	32	4	3	4	2	4		4	#	4	3
2	32	4	3	4	2	4	4	4	4	4	4
3	32	4	2	4	3	4	4	4	2	4	2
4	32	4	3	3	2	4	3	4	4	3	2
5	32	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4
10	32	2	3	4	2	4	4	3	3	3	3
16	32	4	3	4	2	4	4	4	4	4	3
18	32	2	1	4	4	4	4	2	2	4	4
26	32	4	2	4	2	4	3	4	3	4	3
27	32	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4
29	32	4	3	4	2	4	4	4	3	4	3
38	32	4	3	4	3	3	3	4	4	4	3
39	32	4	3	4	2	4	3	4	3	4	4
44	32	4	#	4	4	#	#	#	4	4	4
50	32	4	4	4	3	4	4	4	4	4	#
55	32	4	3	4	3	4	3	4	4	4	4
57	32	4	2	4	2	4	#	4	2	4	2
64	32	4	#	4	#	4	#	4	#	3	#
平均		3.7	2.8	3.9	2.6	3.9	3.6	3.8	3.3	3.8	3.3

項目No	平成22年度 進路部 達成目標
31	①平成25年度の高等学校新学習指導要領に対応した新教育課程を策定する。それに合わせて、移行期間の年度ごとの教育課程を策定する。その際、現在の取り組みを振り返り、実態や課題をよく把握した上で、改めて、本校のスクールアイデンティティ (SI) を明確にするとともに、新課程導入の成果を学校の活性化と効果的な広報に結びつけ、活かしていく。
33	②中学1年から高校3年まで各学年の進路シラバスに基づいた計画的な進路指導・ガイダンス・面談指導などを行い、進路意識を向上させるとともに、最終的なゴールであるキャリアプランの確立と進路目標実現を達成する。特に平成22年度は、中学時、特に中学3年次を進路指導上の最重要学年と捉え、進路ガイダンスや面談指導を充実させる。
35	③生徒の学力向上と希望進路実現のための具体的な目標を次のように設定する。 1) 高校3年生では、大学入試センター試験を全員が受験し、本校の平均点が全科目で全国平均を上回る。 2) 中期目標で示された平成22年度卒業生大学合格実績を達成する。 3) 中1～高2生では学力推移調査、全国模試での偏差値が過年度比較、経年比較とも前年、前回は上回る。 4) 中学生、特に中学3年生に高校卒業まで、本校の教育課程は「シームレス」であるという意識を持たせる。
37	④帰国生の特性を生かした学習指導、進路指導を行い、進路希望を実現する。過去の帰国生卒業生の希望進路実現実績を上回る。
39	⑤高大連携、接続プログラムをこれまでの取り組みを踏まえ、さらに発展させる。新課程カリキュラムの中に高大連携を位置づけられる段階まで踏み込み、大学、高校の相互での単リキュラムの中に高大連携を位置づけられる段階まで踏み込み、大学、高校の相互での単位修得のシステム策定を具体的に検討していく。大学での学びを高校段階から組織的に体験させ、進路意識、学力の向上に結びつける。

教員	所属 部員	進路部内評価									
		項目31		項目33		項目35		項目37		項目39	
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度
6	33	4	3	4	3	4	2	3	3	3	3
7	33	4	3	4	4	4	3	4	3	3	3
15	33	3	3	4	3	4	3	3	3	3	3
17	33	4	3	4	3	4	3	4	3	3	3
20	33	4	2	1	1	4	3	4	3	4	2
28	33	4	2	4	4	4	3	4	2	4	3
30	33	4	3	4	4	#	4	4	3	2	3
41	33	4	2	4	2	4	2	3	2	4	3
42	33	4	3	4	3	4	2	3	2	4	3
45	33	4	2	4	2	2	1	3	3	1	1
47	33	4	3	3	3	4	2	4	2	3	3
54	33	3	3	4	3	3	4	3	3	4	3
58	33	4	3	4	3	4	2	3	2	2	2
59	33	3	2	3	2	4	2	4	2	4	3
60	33	4	2	4	#	4	2	3	#	3	4
65	33	4	2	4	3	4	2	4	3	4	4
平均		3.8	2.6	3.7	2.9	3.8	2.5	3.5	2.6	3.2	2.9

項目No	平成22年度 入試広報部 達成目標
31	①大妻中野の特色ある教育活動の広報に努める。
33	②中学入試について、入試問題の質的向上を目指す。また、中学入試の運営が、滞りなく適正に遂行されるように計画、運営する。
35	③中学入試結果の検証をとおして、各種のデータを分析・検討し、次年度入試の骨格をつくる。
37	④広報活動、入試業務に全教職員をあげて取り組めるよう、協力体制を整える。
39	⑤広報活動への卒業生・保護者の協力体制について検討し、全教職員との連携のもと、一体となった広報活動を行う。

教員	所属 部員	入試広報部内評価									
		項目31		項目33		項目35		項目37		項目39	
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度
11	34	#	3	4	#	#	#	#	3	3	2
14	34	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4
21	34	4	3	4	3	3	3	4	3	3	3
22	34	4	3	4	3	4	3	3	3	3	2
24	34	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
31	34	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2
33	34	4	#	4	#	4	#	4	#	3	#
34	34	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#
35	34	4	3	4	4	4	3	4	3	3	3
40	34	4	3	4	3	3	3	2	2	3	2
51	34	4	2	4	4	4	3	4	4	3	2
63	34	4	3	4	4	4	4	4	2	4	2
67	34	4	4	4	3	4	2	4	3	4	2
平均		3.9	3.2	3.9	3.5	3.7	3.1	3.6	3.0	3.3	2.5

項目No	平成22年度 中学1年 達成目標
1	①新学習指導要領をふまえ、新教育課程を円滑に実施するとともに、到達度評価を利用し学力向上を図る。
3	②体験的な学習により人間関係形成能力を育てるとともに、ピアサポートの実施により情操教育の土台を築く。
5	③「建学の精神」「校訓」「教育目標」を柱に大妻中野としての躰教育の下に、社会性を育み、規範意識の定着を図り、保護者との連携を強める。また、学年の行事などを通して地域との連携もより深める。

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
1	32	4	3	3	2	4	3				
2	32	4	3	4	3	4	4				
3	32	4	3	4	3	4	2				
4	###	4	2	2	3	4	2				
5	32	4	3	4	2	4	3				
6	33	3	2	4	3	4	4				
7	33	4	3	4	4	4	3				
8	###	4	3	4	3	4	3				
9	31	4	4	4	4	4	4				
10	32	3	3	4	3	3	3				
11	34	4	3	4	3	4	3				
平均		3.8	2.9	3.7	3.0	3.9	3.1				

項目No	平成22年度 中学2年 達成目標
1	①新学習指導要領に基づき、学力の育成を図る。 —中学2年時点で必要な基礎的・基本的な知識、技能と応用力の育成を図る。
3	②「大妻中野」の躰教育の下で社会性を育み、規範意識の定着を図る。
5	③学校行事・特別活動などの集団活動や道徳の授業などのあらゆる機会に体験活動・言語活動を取り入れることにより心の教育の充実を図り、豊かな情操を育む。
7	④中学2年次において必要な進路に対する意識や考えを持たせる。

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5		項目7			
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
12	###	4	3	4	3	4	3	4	3		
13	31	4	3	4	3	4	2	#	#		
14	34	4	3	4	4	4	4	4	4		
15	33	4	3	4	3	4	3	4	3		
16	32	4	3	4	3	4	3	3	3		
17	33	4	3	4	2	4	3	3	3		
18	32	3	3	4	4	4	4	4	4		
19	31	4	3	4	3	4	3	3	3		
20	33	4	3	4	2	4	2	3	2		
21	34	4	4	4	3	4	3	4	3		
平均		3.9	3.1	4.0	3.0	4.0	3.0	3.6	3.1		

項目No	平成22年度 中学3年 達成目標
1	①基礎学力の定着を図り、高校とのスムーズな接続のために、より高度な学習への意欲・興味を持たせ、進路意識を育てる。
3	②7つのルールを徹底していくことで、しつけ教育や安全、安心、充実できる学校生活の教育指導を行い、また基本的な生活習慣の育成を図っていく。
5	③学校行事・学年行事（平和学習・地域での職場体験）を通して社会との関わりや他者との良好な人間関係を築いた上で、しっかりとした自身の考えを持ち、行動できるようにする。

「重要度」の評価 ; あなたからみて本校に望む、教育の必要性・重要性を示す数値。 [4]……大変に重要である [3]……やや重要である [2]……あまり重要でない [1]……重要でない
「達成度」の評価 ; あなたからみて本校が現在どのくらい達成・実現できているかの割合(%)を示す数値。 [4]……75～100%(ほとんど) [3]……50～74%(まあまあ) [2]……25～49%(もうすこし) [1]……0～24%(わずか)

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
22	34	4	3	3	2	4	3				
23	###	4	3	4	2	4	3				
24	34	4	3	4	3	4	3				
25	31	4	3	4	3	4	3				
26	32	4	2	4	2	4	2				
27	32	4	3	4	3	4	4				
28	33	4	3	4	2	4	3				
29	32	4	3	4	2	4	3				
30	33	4	2	4	#	#	#				
31	34	3	3	3	2	3	2				
平均		3.9	2.8	3.8	2.3	3.9	2.9				

項目No	平成22年度 高校1年 達成目標
1	①高校生活全般における自主的な活動ができるように指導する。その過程において、生徒各自が自分を見直し、大妻中野生としてのプライドを持つようにする。
3	②学力の向上を図り、模試においては全国平均偏差値53以上の学力を目標とする。
5	③社会性を身につける。他者を大切にできる心を養う。
7	④各自の進路について、真剣に考え、今何をやるか自覚するように指導する。

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5		項目7			
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
32	31	4	3	3	2	4	3	4	4		
33	34	4	#	3	#	4	#	4	#		
34	34	#	#	#	#	#	#	#	#		
35	34	4	3	4	2	4	3	4	3		
36	31	4	3	4	2	4	3	4	3		
37	###	4	3	4	2	4	3	4	4		
38	32	4	3	4	2	4	3	4	4		
39	32	4	3	4	2	4	3	4	2		
40	34	4	2	4	2	4	3	4	2		
41	33	4	3	4	2	4	3	4	2		
42	33	4	3	3	2	4	3	4	3		
平均		4.0	2.9	3.7	2.0	4.0	3.0	4.0	3.0		

項目No	平成22年度 高校2年 達成目標
1	①高校生にふさわしい自覚と良識を持たせ、「自主自律」の精神を確立させ、何事においても自発的に積極的に責任を持って行動できるようにする。
3	②自己の進むべき進路を明確にするとともに、その目標達成に必要な学力・知識力・思考力をつけさせる。目安として、進研模試3教科平均で53以上の学習到達度を目標とする。
5	③①及び②に通ずる精神力や体力、行動力を身につけさせる。特に、精神面について強化し、困難に打ち勝つことのできる人間根本の力を伸ばす。

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
43	31	4	3	3	2	4	3				
44	32	4	2	4	2	4	3				
45	33	4	3	4	2	4	2				
46	###	4	3	4	3	4	2				
47	33	4	3	4	3	4	2				
48	31	4	3	4	2	4	2				
49	31	4	3	4	2	3	2				
50	32	4	4	4	4	4	4				
51	34	4	3	4	3	4	2				
52	31	#	#	#	#	#	#				
53	31	4	3	3	3	4	3				
平均		4.0	3.0	3.8	2.6	3.9	2.5				

項目No	平成22年度 高校3年 達成目標
1	①進路結果に結びつく学力向上の基本である自学自習の習慣を確立する。
3	②将来設計を自己決定し、希望進路先への合格実現にむけての学習への取り組みを確実なものにする。
5	③基本的な生活習慣を疎かにせず、体力維持と人間関係における相互理解を目指す。
7	④生徒・保護者への情報提供は適切に行い、理解と協力を得る。

教員	所属部	学年内評価									
		項目1		項目3		項目5		項目7			
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
54	33	4	3	4	3	4	3	4	3		
55	32	4	4	4	4	4	4	4	4		
56	31	4	3	4	3	3	2	4	3		
57	32	4	3	4	2	4	2	4	2		
58	33	4	4	4	3	4	3	4	3		
59	33	4	3	4	3	4	#	4	3		
60	33	4	3	4	3	4	3	4	3		
61	###	4	3	4	3	4	3	4	4		
62	31	4	4	4	4	4	3	4	4		
63	34	4	3	4	3	4	3	4	3		
平均		4.0	3.3	4.0	3.1	3.9	2.9	4.0	3.2		

項目No	平成22年度 国語科 達成目標
11	①授業研究を通じて質の高い授業を目指す。
13	②各種テスト等を活用して生徒の学力を把握し、日々の授業改善につなげる。
15	③言語活動のより一層の充実を図る。

教員	所属部	教科(国語)内評価									
		項目11		項目13		項目15					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
平均		3.9	2.7	3.8	3.3	4.0	3.2				

項目No	平成22年度 社会科 達成目標
11	①到達度評価の研究
13	②外部模試やセンター試験の校内平均点のさらなる上昇を目指し、センター試験平均点越えを目指す。
15	③論理的思考力を養うとともに生き方・在り方を考えさせる。
17	④入学試験問題作成の研究、改善をし、平均点の上昇を目指す。
19	⑤今後の総合学習の在り方を検討

教員	所属部	教科(社会)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17		項目19			
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
平均		3.1	2.5	3.6	2.8	3.7	2.7	3.6	2.8	3.3	2.5		

項目No	平成22年度 数学科 達成目標
11	①数学科教員としての資質向上のため、授業方法等の共有化および内容改善を図る。
13	②到達度評価の評価制度向上にあたり、評価システムの精査を行う。
15	③新学習指導要領実施に向けて、カリキュラムの検討および修正を行う。
17	④数学科としてのシステムについて、計画的な検討を行う。

教員	所属部	教科(数学)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
8	###	4	4	4	3	3	2	3	2				
17	33	3	3	3	3	4	3	4	3				
26	32	4	3	4	3	#	#	3	3				
27	32	4	3	3	3	3	3	3	3				
28	33	4	2	4	4	4	3	4	3				
34	34	4	#	4	#	4	#	4	#				
42	33	4	2	4	3	4	3	4	3				
47	33	4	2	3	3	4	3	4	2				
49	31	4	3	3	3	4	4	3	3				
58	33	4	3	4	4	4	3	4	3				
平均		3.9	2.8	3.6	3.2	3.8	3.0	3.6	2.8				

項目No	平成22年度 理科 達成目標												
11	①到達度評価の研究をする。												
13	②実験実習の年間計画と実験書の作成												
15	③博物館主催の実験会や大学研究室見学の生徒への告知と参加を促す。												
17	④新学習指導要領を見据えたカリキュラムの策定												
教員	所属部	教科(理科)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
平均		3.4	3.0	3.4	2.7	3.1	2.4	3.9	3.3				

項目No	平成22年度 保健体育科 達成目標												
11	①指導と評価の一体化を図り、到達度評価の研究をする。												
13	②実技の各種目における生徒の安全性の向上を図る。												
15	③心身の健康に関する正しい知識を習得することにより、自己の健全なる心身を養う。												
17	④体育の授業を通じて、躰教育を行う。(時間を守る、思いやり、協力、服装等)												
教員	所属部	教科(保体)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
平均		4.0	2.8	4.0	3.5	3.8	3.0	3.8	3.2				

項目No	平成22年度 芸術科 達成目標												
11	①芸術の本来持っている力によって、素直で豊かな心を養う。また、作品を仕上げる課程において情操教育に力を入れた指導を行う。												
13	②芸術の基礎技術を向上させると共に、「努力の後の達成感」「継続は力なり」という事実を体験させる。												
15	③指導と評価の一体化を、より研究し深め到達度評価を実施する。												
17	④芸術に対する感性を育て、心豊かにする演劇、音楽コンサート、美術展、書道展などを自分で選び、鑑賞し、感じたことを積極的に自分らしい表現で報告できるように成長させる												
教員	所属部	教科(芸術)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度				
平均		4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	2.5	4.0	2.0				

項目No	平成22年度 英語科 達成目標												
11	①STEP1（中1中2）においては基礎英語力を定着させ、学習習慣を身に付けさせる。中1アドバンストにおいては英検4級全員合格を目指し、中2アドバンスにおいては英検3級全員合格を目標とする。												
13	②STEP2前期（中3）では、中学校の英文法を総合的に使って表現力を養い、ある程度長い英文を読む楽しさを知る。基礎基本を確実に身につけ、高校英語に向けて自立的学習者を育てる準備をする。英語検定3級について全員合格を目標とする。またアドバンストクラスでは準2級や2級などをチャレンジ受験させる。												
15	③STEP2後期（高1）は、英文を勘ではなく論理的に頭から読めるよう構造把握の力を養成する。GTECにおいて各分野別平均グレード4、速読スピード70wpmの達成を目標とする。												
17	④STEP3前期（高2）は、GTECにおいて各分野別平均グレード4、速読スピード100wpmの達成、特にリスニング力・ライティング力を強化する。英文を頭から読めるよう構造把握の力を養成する。												
19	⑤STEP3後期（高3）は、センター試験において全国平均点を+3点を目標とする。英文を頭から読めるよう構造把握の力を強化する。速読スピード100～120wpmを達成する。												
教員	所属部	教科(英語)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17		項目19			
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
平均		3.8	3.0	3.9	3.1	3.9	2.8	3.9	3.0	3.9	3.0		

項目No	平成22年度 技術家庭科 達成目標												
11	①新学習指導要領を踏まえ、移行措置と新教育課程での指導内容について検討する。 ・新教育課程への円滑な移行を図る。 ・引き続き、到達度評価の研究を行い、適切な評価を目指す。												
13	②自らの将来像を描けるように、キャリア教育を念頭に情報が活用できるようにする。 ・基礎基本の定着と発展的な学習を行い、知的探求心を育成し、問題解決能力や理的思考力を向上させて、主体的に判断する「学力」を身につける。												
15	・基礎基本の定着と発展的な学習を行い、知的探求心を育成し、問題解決能力や理的思考力を向上させて、主体的に判断する「学力」を身につける。 ・文部科学省主催の検定試験（筆記 実技）導入実施基礎の定着を計る。家庭分野を選択した生徒には発展的な上級試験にチャレンジする。受験者（食物、保育、被服 4級は全員合格・選択者は3級合格を目指す） ・生徒の個性を重んじ「制作の楽しさ、達成感、継続の大切さ」を体験させる。												
17	③・躰や情操を身につけ、心豊かな人間性を育て、主体的に生きる力を身につける。 ・衣・食・保・住の実習に関連させ、マナーや情操を体得し、社会的な生活習慣の充実を計り、生きていく知恵を身につけさせる。中1で全員が民族衣装である和服を一人で着用できるようにする。さらに和服での立ち居振る舞い作法を身につける。												
19	④「建学の精神」や「校訓」に基づき独自の教育を計り、日本の伝統を継承し、真の国際人を育て、人類に貢献できる人間を育てる。												
21	⑤新校舎建設にともない教育環境の整備を図る。												
教員	所属部	教科(技術家庭科)内評価											
		項目11		項目13		項目15		項目17		項目19		項目21	
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度
平均		4.0	3.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.5	3.0	4.0	2.0	4.0	2.5